

授業科目名	診断のためのNP実践演習		単位数	2	時間数	
Course Title	Exercise for medical examination about Nurse Practitioner		必修・選択	NP必修	受講対象年	1年次
科目コード	95625809	授業の形式	講義（オンデマンド）	講義室等	オンデマンド授業、秋田大学病院シミュレーション	
開設学期等	後期 土曜日 5・6時限					
【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】
安藤秀明	教授/看護学講座	WebClass	WebClass mail	吉岡政人	教授/看護学講座	WebClass
利 緑	講師/看護学講座	WebClass	WebClass mail	赤沼 裕子	周麻酔看護師/聖路加国際大学 麻酔科・集中治療	WebClass
高数倫子	診療看護師/秋田大学	WebClass	WebClass	佐藤大祐	診療看護師/秋田大学	WebClass
三宅 徹	診療看護師/藤原記念病院	WebClass	WebClass	藤井詩乃	診療看護師/秋田大学	WebClass
前田香織	診療看護師/秋田大学	WebClass	WebClass	工藤尚也	診療看護師/秋田大学	WebClass
河邊亮太	診療看護師/秋田大学	WebClass	WebClass	村上光太郎	診療看護師/大館市立総合病院	WebClass
授業の目的・到達目標						
病態診断のための事例ベースに検査データ解釈、超音波検査の修得、画像診断の理解。さらに、胸部・腹部・整形外科領域などのX線単純写真、造影検査、CT検査、MRI検査などの読影。各種内視鏡検査の読影を修得する。						
急性期・慢性期領域疾病に対するアセスメント、必要な検査、処置・治療について、事例ベースに、診療の時間経過とともに変化する対応を検討修得する。 (1) 気管内挿管チューブ調整、人工呼吸器管理を学び、理解する。 (2) 循環器サポート機器（ペースメーカー、経皮的肺補助装置・大動脈内バルーン・パンピング）を学び理解する。 (3) 循環器病態に投与する薬剤効果・有害事象を学び、理解する。 (4) 術後留置ドレーン管理を学び、理解する。 (5) 栄養管理、血糖管理、中心静脈カテーテル管理、末梢型中心静脈カテーテル管理について学び理解する。 (6) 動脈血ガス分析について学び説明出来る。						
授業の概要と進行予定及び進め方						
講義（放送授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導 講義（手技動画）（放送授業・面接授業）：手技動画の視聴/手技練習の観察評価						
成績評価の方法						
講義でのグループワーク観察評価および形成試験。総合単位認定試験（筆記試験）。	教科書等		教科書・参考書・参考文献等			
		書籍名	著者	出版社		
コメント						
本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目」及び「双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業科目」である。医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。						
授業展開		Web受講	授業内容			
第1回 後期履修期間中		×	【腹部超音波検査（1）】 シミュレーション教育センターに於いて、超音波機器と腹部ファントムを用いて、超音波検査法を実施することが出来る。正常腹部について、超音波検査機器で各臓器を描写することが出来る。 【事前学習】前期で学んだ腹部超音波検査法について復習する。eLearningコンテンツも事前学習しておく。			
第2回 後期履修期間中		×	【腹部超音波検査（2）】 病変のある腹部ファントムモデルで、腹部超音波検査で異常所見を描写することが出来る。 【事前学習】前期で学んだ腹部超音波検査法について復習する。eLearningコンテンツも事前学習しておく。			
第3回 後期履修期間中		×	【腹部超音波検査（3）】 模擬患者に対して、腹部超音波検査を実習する。 【事前学習】eLearningコンテンツも事前学習しておく。			
第4回 後期履修期間中		×	【胸部超音波検査（1）】 シミュレーション教育センターに於いて、心臓超音波検査トレーニングシミュレータVIMEDIXを用いて、超音波検査法を研修することが出来る。正常心臓について、超音波検査機器で各臓器を描写することが出来る。 【事前学習】前期で学んだ腹部超音波検査法について復習する。eLearningコンテンツも事前学習しておく。			
第5回 後期履修期間中		×	【胸部超音波検査（2）】 シミュレーション教育センターに於いて、心臓超音波検査トレーニングシミュレータVIMEDIXを用いて、超音波検査法を研修することが出来る。心臓疾患について、超音波検査機器で各臓器を描写することが出来る。 【事前学習】前期で学んだ腹部超音波検査法について復習する。eLearningコンテンツも事前学習しておく。			
第6回 後期履修期間中		×	【胸部超音波検査（3）】 模擬患者に対して、腹部超音波検査を実習する。 【事前学習】前期で学んだ腹部超音波検査法について復習する。eLearningコンテンツも事前学習しておく。			
第7回 オンデマンド授業		○	【救急診療における超音波検査】 救急医療の現場で、超音波検査による画像診断の有用性を理解し、実践出来る。 【事前学習】前期で学んだ超音波検査法について復習する。eLearningコンテンツも事前学習しておく。			
第8回 オンデマンド授業		○	【循環器病態評価のための実践演習（事例検討）】 ペーパーベイスメントを用いて、グループワークによる事例検討を行う。 【事前学習】前期で学んだ内容について復習しておくこと。			
第9回 オンデマンド授業		○	【呼吸器病態評価のための実践演習（事例検討）】 ペーパーベイスメントを用いて、グループワークによる事例検討を行う。 【事前学習】前期で学んだ内容について復習しておくこと。			
第10回 オンデマンド授業		○	【神経疾患病態評価のための実践演習（1）】 神経疾患の診察法について学び、実践することが出来る。			
第11回 オンデマンド授業		○	【内視鏡検査とその診断】 消化器内科 松橋保准教授 消化管内視鏡検査の目的/適応/リスクを学び、理解する。さらに、検査によってえられた画像を分析して、理解する事が出来る。 【事前学習】WebClassに資料を準備しているので、事前学習をしておく。			
第12回 オンデマンド授業		○	【診断・治療のための臨床解剖】 心臓、大動脈/気管・肺/正中、尺側、桡側、上腕静脈/鎖骨下動脈/内頸静脈/橈骨動脈（アライン確保のため）/腰椎硬膜外腔/胃・膀胱（胃瘻・膀胱瘻交換のため）			
第13回 Web試験		○	学修知識の試験			
第14回 実技演習 後期履修期間中		×	実技演習			
第15回 OSCE 後期履修期間中		×	包括評価 筆記試験：多肢選択式試験で、習得した知識を確認する。 事例検討：事例をもとに、病態や疾病について臨床推論を行いながら、これまでの学びを確認する。			